

持続可能な開発目標(SDGs)への取り組み

持続可能な開発目標 SDGs とは

持続可能な開発目標(SDGs:Sustainable Development Goals)とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標(MDGs)の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



日本コンピュータコンサルタント(NCC)のSDGs宣言

NCCは国連が提唱する「持続可能な2030年までの開発目標(SDGs)」の達成を全社員の共通課題として捉え、社訓でもある「人の和」「誠実」「責任感」「積極進取」「若さと夢」に基づき、社会的課題の解決に取り組むことで、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

2021年4月1日

株式会社日本コンピュータコンサルタント

代表取締役社長 富田 松平



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

株式会社日本コンピュータコンサルタントは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

弊社の具体的な取り組み




NCC は以下のターゲットの達成に向け、取り組みます。


- 8.5「2030年までに、若者や障害者を含むすべての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事ならびに同一労働同一賃金を達成する。」
- 12.8「2030年までに、人々があらゆる場所において、持続可能な開発及び自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識を持つようにする。」

- ・「よこはまグッドバランス企業認定(旧よこはまグッドバランス賞)」(横浜市)の取得を通じて、男女共に働きやすい職場環境作りを積極的に進めます。
- ・「かながわ子育て応援団」(神奈川県)の活動を通じて、仕事と家庭の両立支援を積極的に進めます。
- ・「優良申告法人」(神奈川県)の表敬を継続することで、申告納税制度の趣旨に即した適正な申告と納税を継続し、安定した業績と透明性のある企業姿勢を継続します。

●よこはまグッドバランス企業認定

 <p>Yokohama Good Balance</p> <p>2024.1.1~2025.12.31</p>	<p>横浜市では、女性の活躍やワーク・ライフ・バランスを推進するため、男女がともに働きやすい職場環境づくりを積極的に進める市内中小企業等を「よこはまグッドバランス企業認定」として認定しています。(2019年12月2日に認定事業所として認定、2023年12月継続認定)</p> <p>https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/seisaku/torikumi/danjo/balance/</p>
--	--

●かながわ子育て応援団

	<p>神奈川県では、子ども・子育て支援推進条例に基づき、従業員のための子ども・子育て支援を制度化している事業者を「かながわ子育て応援団」として認証し、仕事と子育ての両立が可能な雇用環境の整備の促進を図っています。(2011年12月26日取得)</p> <p>https://c.rakuraku.or.jp/workplace/list</p>
---	--

●優良申告法人

<p>優良申告法人とは、経営内容が優良でありかつ適正な申告と経理処理が特に優良で、将来にわたり適正な申告が期待できると認められた企業を選別認定し表敬する制度です。弊社は、2020年6月に神奈川県より「優良申告法人」の表敬を受けました。神奈川県企業約3,200社のうち、現在までに表彰された企業は80社(2.5%)と非常に選別認定基準は厳しく、大変名誉なことです。</p> <p>https://www.n-c-c.co.jp/wp-content/uploads/2021/03/ea96327400e2fe269a8a77d31da03ed3.pdf</p>
--




NCC は以下のターゲットの達成に向け、取り組みます。

- 10.2「2030年までに、年齢、性別、障害、人種、民族、出自、宗教、あるいは経済的地位その他の状況に関わりなく、すべての人々の能力強化及び社会的、経済的及び政治的な包含を促進する。」
- 16.7「あらゆるレベルにおいて、対应的、包摂的、参加型及び代表的な意思決定を確保する。」


- ・自社の人権基本方針を公表し、ディーセントワーク(働きがいのある人間らしい仕事)の実現に向けて、「ビジネスと人権」に関する理解促進と意識向上、人権デュー・ディリジェンスの実施(人権尊重を促進する仕組みの整備と救済メカニズムの整備および改善)を行います。
- ・ハラスメントを防ぐルール、相談体制を整備し、安心して働ける職場環境をつくりまします。



- ・健康企業宣言(健保連 神奈川連合会が優良企業を認定)を行い、従業員の健康と第一に考え、残業の削減や有給休暇取得の促進、従業員への健康指導などを通じて健康増進に積極的に取り組みます。
- ・プライバシーマーク(JIPDEC)の取得を通じて、「個人情報に対する基本方針」を定めて公表するとともに体制を整備し、社内研修を行い情報管理ルールの周知徹底を図ります。(2005年取得以降継続)

●かながわ健康企業宣言 健康優良企業

 <p>かながわ 健康優良企業</p>	<p>かながわ健康優良企業とは、従業員一人ひとりが、心身ともに健康でいきいきと働くことができる職場環境の構築に向け、他の企業の模範となる健康づくりの取り組みを宣言し、実施している企業に対し、健康優良企業として認定されるものです。 (2021年12月13日に 健保連 神奈川連合会から認定 2023年12月更新認定) https://kenpo-kanagawa.or.jp/general/health-declaration/quality-list.html</p>
--	---

●プライバシーマーク

 <p>11820308(10)</p>	<p>JIPDEC(財日本情報経済社会推進協会)が運営する「プライバシーマーク制度」は、事業者の個人情報を取り扱う仕組みとその運用が適切であるかを評価し、その証として事業活動においてプライバシーマークの使用を認める制度です。 https://entity-search.jipdec.or.jp/pmark</p>
---	--

<p>13 気候変動に 具体的な対策を</p> 	<p>15 陸の豊かさも 守ろう</p> 	<p><u>NCC は以下のターゲットの達成に向け、取り組みます。</u> 13.3「気候変動の緩和、適応、影響軽減及び早期警戒に関する教育、啓発、人的能力及び制度機能を改善する。」 15.4「2030年までに持続可能な開発に不可欠な便益をもたらす山地生態系の能力を強化するため、生物多様性を含む山地生態系の保全を確実に行う。」</p>
--	---	--

- ・自社内でのペーパーレス(紙使用量削減)の年度目標(2019年度比で、管理部門帳票を2024年度には35%削減・2023年度目標は達成)を設定して、廃棄物削減に取り組んでいます。また開発部門ではWeb会議の利用やPCを利用した会議・ミーティングを促進し、会議資料の紙消費を削減します。
- ・コピー用紙/名刺/封筒など社内の紙資源を2025年度までに環境に配慮した紙の利用とします。
- ・自社製品をクラウド化することで製品リリースの際に CD-ROM などのメディア配布を行わないなど、環境に配慮した材、製品、サービスの提供を通じて生物多様性保全を行います。
- ・自社製品「和牛繁殖管理システム moopad(ムーパッド)」では、官公庁への帳票を紙ベースから電子化する機能など、環境に配慮した IT サービスを提供しています。
- ・Web 検索に「ECOSIA」を活用することで、ベルリンの公益法人を通じた植樹活動に協力します。

●介舟ファミリー | 介護ソフト・障害者福祉ソフト

<p>「介舟ファミリー」は介護保険・障害者福祉サービスの計画～請求作成の一貫した業務において、ケアマネジャー、サービス提供責任者、管理者の「業務の効率化」を目的に、「管理しやすい」「操作に迷わない」ソフトを提供します。「介護事業の一番身近なパートナー」としてお客様に“安心”を提供します。 https://kaisyuf.jp/</p>
--

●moopad(ムーパッド) | 和牛繁殖管理システム

<p>「moopad」は和牛繁殖において、システムによる“見える化”で、省力的かつ効率的な「スマートな繁殖管理」を実現します。ビッグデータを利用して牛を一頭一頭管理でき、生産効率を上げて、忙しく人手が足りない和牛繁殖農家の皆様のワーク・ライフ・バランスの向上に役立ちます。 https://www.moopad.biz/</p>
--

以上。